



ナイス福岡 会報

自然感

くすのき

2020年07月
第 300 号

定例総会を実施。その報告です。

福岡県自然観察指導員連絡協議会 事務局

◆2020年度 福岡県自然観察指導員連絡協議会・定例総会◆

◆定例総会の報告 (6/27 (土)) 13時から14時半まで

出席者：小野 仁、鶴田義明、荒牧源実、小湊正憲、堀 謙治、宮原俊彦、田村耕作
田村の司会進行で進めた。

新型コロナウイルス拡散防止に配慮しつつ、この日の午前中の自然観察会に、続き定例総会を開催します。

1. 2019年度の活動報告、別紙の通り
2. 2020年度の活動計画 別紙の通りですが、**環境フェスティバルふくおか2020**は、中止
今年度、九州自然協議会の要請があり、福岡で協議会開催(12/5~6)を予定
3. 2019年度会計報告、2020年度予算は、別紙のとおりですが、**会費の金額**について、会報の郵送の場合と電子便の場合で、同じでいいのか、電子便での対応者からの意見はないかとの質問があった。特に、今まで意見は届いてはいない。今年度は、従来通りの金額とする。

4. 事務局体制について

監査の辛島真由美氏から、事情により、熊本県八代市に移転したので、辞任の申し出があり、了解された。

後任は小湊正憲氏と決まる。

5. 規約の一部変更について、事務局の住所を田村の仕事場に置いていたが、その仕事場の移動により、事務局の住所を変更する。
新住所：福岡市城南区田島3-7-14



6/27 総会の様子

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：田村耕作／事務局長：小野 仁

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦
〒814-0113 福岡市城南区田島3丁目7番14号
田村の自宅内 TEL : 092-844 - 4381

URL : <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会★

春日公園での自然観察会(110回)は
☆日時 7月18日(土)です。
コロナウイルスの拡散、県内で落ち着いたようです。
防止のための用心しつつ再び開催します。
公園の駐車場もすべて従来通り利用できます。

【連絡先】 担当：田村 耕作
TEL 090-8220-6160 [田村の携帯]

注意 各団体とも、新型コロナウイルス感染拡大状況により、下記の予定も変更になることがあります。
詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

<p>しばらくお休みです。 天拝山探鳥会（筑紫野市） 時 間：8:00～11:00（夏時間） 集 合：天拝山歴史自然公園 問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）</p>	<p>7月26日（日）8月23日（日） 久末ダム探鳥会（福津市） 時 間：8:00～11:00（夏時間） 集 合：久末ダム多目的広場横 駐車場（管理事務所下） 問合せ：0940-33-7846（高原和幸）</p>	<p>8月2日（日）9月6日（日） 今津探鳥会（福岡市西区） 時 間：8:00～11:00（夏時間） 集 合：玄洋高校西側道路 問合せ：090-8220-6160（田村耕作）</p>
<p>しばらくお休みです。開催は9月から。 大濠公園探鳥会（福岡市中央区） 時 間：9:00～12:00 集 合：ポート乗り場前 問合せ：092-573-1827（森健児）</p>	<p>しばらくお休みです。 和白海岸探鳥会（福岡市東区） 時 間：9:00～12:00 集 合：JR 和白駅前の公園 問合せ：092-606-0012（山本廣子）</p>	<p>7月7日（火）8月4日（火） 県営春日公園（春日市） 時 間：10:00～12:00 集 合：音楽堂ステージ側（第5P） 問合せ：092-592-3423（小野仁）</p>

日本野鳥の会 筑後支部

問合せ：090-7159-3933（松富士）
詳しくはHPを御覧ください。

福岡植物友の会

問合せ：佃 昇（092-662-2983）
要予約 参加は有料

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

8月1日（土）
集 合：九州歴史資料館駐車場
時 間：9:30～12:00（早めに終わるか
 もしれません）
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200円

ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で
[検索](#)
観察会や様々な生きもの情報を載せています



コムラサキ 三国・松永



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

和白干潟を守る会 主催

<p>7/25（土） 定例会議 時 間：12:00～14:00 集 合：和白干潟を守る会事務所 問合せ：092-606-0012（山本廣子）</p>	<p>7/25（土） クリーン作戦 と自然観察会 時 間：15:00～17:00 集 合：海の広場 駐車場なし 長靴・軍手があると便利 問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）</p>
--	--



ウスキヒメアオジャク 三国・松永

2020年6月 私のデジカメ日誌より 本のむし

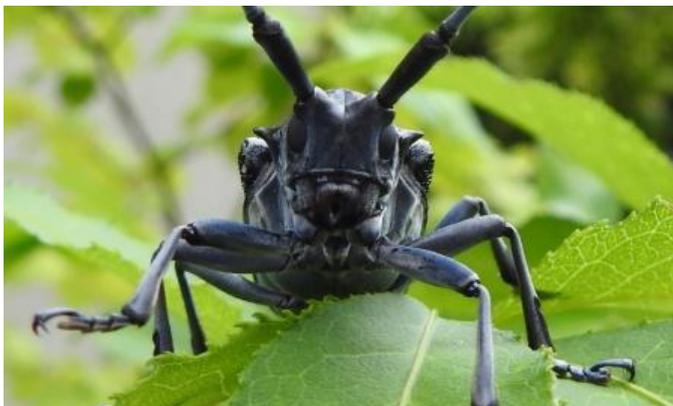
今回は、6月1日(旧暦閏4月10日)～6月30日(旧暦5月10日)までのデジカメ日誌です。



6月4日(旧暦閏4月13日) 筑紫野市天拝公園
オヘイチゴの花。普通種だが、高山植物に劣らない可憐さである。ヘイチゴの仲間。名の由来の一つに、苺を食べに来た小動物を蛇が襲うという事からの命名という。



6月4日(旧暦閏4月13日) 筑紫野市搭原大門池北
尻尾の切れたニホントカゲが、甲虫を啜って急斜面を登ってきた。早く食べたいのか、わき目も振らずに上の草付きの中に消えて行った。



6月12日(旧暦閏4月21日) 筑紫野市天拝坂
庭木の剪定をしていたら、ヌーと現れた。彼も驚いたらしく一瞬固まった。優しい顔だね。ゴマダラカミキリ。



6月4日(旧暦閏4月13日) 筑紫野市搭原大門池南
今年はコチドリによく出会う。足を動かしているようには見えないが、足元に丸く波紋が広がっている。狩りでもしているのか？ 貧乏ゆすりということは無いよね。



6月9日(旧暦閏4月18日) 太宰府市観世音寺戒壇院
鑑真和上が唐より持参した種の末裔だそう。ただしこの樹はシナノキ科の菩提樹。箱崎九大にあるリンデンバウムに近い。お釈迦様が悟りを開かれた、インドボダイジュはクワ科でイチジクに近いらしい。



6月26日(旧暦5月6日) 筑紫野市武蔵
天拝公園の、椿の山南麓の車道沿いの法面にとぐろを巻いていた。家内が見つけて教えてくれなければ私には見えなかった。綺麗なカラスヘビ。シマヘビの黒化変異である。下あごの白以外は真っ黒である。目も黒いのでアルビノではない。

くすのき 2020年7月号投稿原稿-本のむし
Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

春日公園自然観察会 報告

令和2年6月20日（土）【参加者数】7人

コロナウイルスの拡散防止対策のために、自然観察会を中止していましたが、拡散が落ち着き始めた様子から、観察会を開催しました。コロナ対策に配慮しつつ、園内を散策しました。

（報告と写真/田村耕作）

観察路：自然あそび館～菖蒲池～カスケード～噴水広場～展示広場～自然風庭園～自然あそび館

観察内容

① 植物 アキニレ、スズカケノキ（プラタナス）、タイサンボク（花と香り）、ウバメガシ、ハナゾノツクバネウツギ、ネジバナ、ヤマモモ（実）

② 野鳥

カワセミ、キジバト、リュウキュウサンショウクイ、ムクドリ、スズメ、シジュウカラ（群れ）、エナガ、コゲラ、メジロ、カワラヒワ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、アヒル、カワラバト

③ その他の生きもの

ベニシジミ、ベニトンボ、ショウジョウトンボ、コシアキトンボ、ギンヤンマ、クマゼミ（声）、オイカワ（群れ）、オオスズメバチ、チョウトンボ、シオカラトンボ、ウスバキトンボ

感想

- ・公園でウオーキングのみで、知らないことが多いので、参加した。楽しかった。
- ・普段あまり見ていないが、こういう観察会でよく見ると発見がある。
- ・観察会に参加出来て、楽しかった。
- ・この時期しか観察できないいきものを観察できて、うれしかった。

久しぶりの観察会風景



今年も見かけたネジバナ



自然風庭園のそばで見かけたオカトラノオ



実ったヤマモモの実 実が大きいヤマモモ



リュウキュウサンショウクイ



ショウジョウトンボ



一斉に田植えが終わり、年に一度だけ満喫出来るこの時期ならではの美しい景色が眼下に広がりました。一転して、1～2年前の梅雨入り頃から、狭い庭先に姿を見せ始めた草花。夏の終わりに藤色の花を見せるハナトラノオ



とはどうやら違うようで、その昔、阿蘇の草原でよく見かけたオカトラノオではないかとおもいます。今年は株も倍増。こんなところに！！と嬉しく、楽しんでます。

絶滅危惧種と言われる秋の七草キキョウもいつの間にか住み着いて、雨に打たれながらも間もなく開花の様子。紫花だけでなく白花も、と増えています。風が強い土地柄、植えたりしなくてもどこからか飛んで来て根付いたものでしょう。オミナエシは消えてしまい落胆していましたが、来るもの逐わず、去るもの追わず、の庭は天からの恵みをたっぷり吸い上げて、夏草天国です。
(ダムサイト住人 2020/6/30 記)

初夏の和白干潟

6月27日は、和白干潟を守る会で和白干潟のクリーン作戦をしました。今夏は近年では早いアオサの発生があり、沿岸にたくさん流れ着いていました。満潮時でしたので、沿岸しか清掃できませんでした。新型コロナウイルス感染防止のために、クリーン作戦は3月～5月まで一般への参加呼びかけを中止していました。今回は4か月振りの一般参加のクリーン作戦で、大学生や高校生など100名を超える参加がありました。マスク着用や密にならないように注意して取り組みました。私はカメラ担当でもありましたので、アシ原の中道を高校生たちと見て回りました。群生したヤマアワの穂がとても涼し気でした。桃色のハマナデシコやネムの花が美しく、ハマゴウの花も咲き初めて瑞々しかったです。

(山本 廣子)



清掃の様子



流れ着いたアオサ



ネムノキの花



ハマナデシコ



ヤマアワの穂



ハマゴウの花

定例総会の議題内容は、以下の通り、承認されました。

2) 2019年度(2019/6~2020/5) 活動報告

- ・2019年6月15日第97回春日公園自然観察会から2019年5月18日まで12回実施
- ・6月29日 総会前、自然観察会 in 地行浜 (福岡市中央区) 3名参加
- ・6月29日 2019年定例総会 於：福岡市まもるむ 7名参加
- ・10月26 ~ 27日 環境フェスティバルふくおか 2019 に出展 (来場者凡そ600名) 延11名協力
- ・2019年5月22日～28日 福岡市役所1階の生きものと私たちの暮らし展 参加
- 5月22日は「国際生物多様性の日」です。この日に対応した催しものの展示
- ・その他関連 * 『自然感 くすのき』のシリーズについて、続いています。
- ★ぶつぶつぶやき 42回～51回目 (第287～296号) おしまい。投稿者さんじゃくさん、有難う。
- ★春日公園自然観察日記、★私のデジカメ日誌 (12回) ★窓越しの自然観察 (5回)
- ★会員各位の投稿 (合わせて32回)

【その他関連】

春日公園での探鳥会に協力（日本野鳥の会福岡支部とナイス福岡の共同で10回実施）
毎月第1火曜日の10時から12時まで。毎回20名前後の参加者有り。

【各会員の所属する団体の活動例】

◆ 三国丘陵の自然を楽しむ会 松永紀代子会員活動報告

●会報・付録145号～155号まで発行

（会報は主に観察会の感想など 付録は観察会・会員諸氏のフィールドでの目撃記録など）

●観察会 7月6日 9月7日 10月5日 11月2日 12月7日 1月11日 2月1日

3月～5月の観察会は新型コロナウイルス感染防止のため中止 ただし、会員が個人的に九歴に向き感想文・記録などを作成

● 他に

① 九州歴史資料館では福岡県緑化事業の名の元に下記が行われました。

1. 館周りのクヌギやコナラなどの樹木の一部を根際から伐採、また大幅な枝打ち。
2. 歩道の設置やギンバイカ・ミツマタ・アジサイをぐるりと植林。
3. 環境資源で大切な伐採木や落ち葉・朽木なども除去。

福岡県の環境白書（平成30年度版）の第4節「生物多様性の持続可能な利用」に記されているにもかかわらず、多様性をないがしろにしているため、元の環境を大切に管理を行うよう総務部に申し入れをしています。

② 影堤の堰堤工事のため、2018年からの池干しで、絶滅が危惧されていた植物A（絶滅危惧IB類《環境省・福岡県》）は、2019年5月には壊滅的になっていました。それで瀕死状態だった1株を現地の土ごと掘り上げ、ハッピースチロール容器に水を張った中で代表の自宅庭で保管。その後現地の土を何度か補充したところ、順調に生育し花も咲き、匍匐茎をかなり伸ばしました。今年堰堤工事が完成、現在水位が上がり、ツルヨシ環境が回復したため、一部草刈り後、ほとんどを現地に戻しました。念のために少し保管もしています。



◆ 和白干潟を守る会 ナイス福岡（山本廣子会員）の主な活動報告

和白干潟の自然の大切さを伝える活動や自然を守る活動に取り組んで31年になります。

- ・2019年5月28日（火）香椎保育所年長児40名と先生4名と保護者3名の和白干潟自然観察会、和白干潟を守る会の自然観察ガイドは4名
- ・2019年9月26日（木）筑陽学園中学校3年生77名と先生5名の和白干潟校外理科学習で観察会と調査活動、和白干潟を守る会の自然観察ガイドは5名
- ・2019年12月21日（土）和白干潟のクリーン作戦と自然観察、30名参加、和白干潟を守る会会員は11名参加（毎月第4土曜日午後3時から開催しています。）



19.9.26 筑陽学園
中学校校外理科学習



19.12.21 和白干潟の
クリーン作戦

◆ どんぐりのぼうしの会 ナイス福岡（小野仁会員）の主な活動

どんぐりのぼうしの会（会長 梅木たか子）は春日市にある福岡県立の春日公園の自然遊び館を拠点として、毎月第3日曜日の午前中の活動を行った。「どんぐりのぼうしの会」は、南区の環境講座の修了生で何かしたいという環境に興味を持っているメンバーで立ち上げた任意団体です。

自然観察を中心として、季節ごとの環境を楽しみました。また、環境に関する学習会や案内のスキルアップの講習も実施しました。

初期のメンバー以外に、一緒に活動してくれる仲間や、公園近くに住む方々や幼稚園のロコミなどで参加者も増える傾向にあり、楽しく活動しています。



◆ つるた自然塾（鶴田義明会員） 主な活動（2019年度）

20年間継続して実施している筑紫小学校をはじめ、福岡市環境局「環境わくわく出前授業」など、今年度も9校の小学校で自然体験学習の指導にあたりました。対象は1年～6年までで延べ人員は1101名です。どの小学校の児童も①素朴な感性②探究心③感動する心が旺盛であり、子どもたちの楽しそうな目の輝きや笑顔がとても印象的でした。

また、コロナ騒動直前の2020年2月22日、福岡教育大学にて小学校教員志望の学生（29名）対象に、集中講義「体験活動の指導法」でネイチャーゲームを体験していただきました。

レポートでは、殆どの学生たちから「5感をフルに使った体験活動は、とても新鮮で楽しかった」「感じることは知るより重要だと分った」「自然体験は、学ぶ力や想像力・生きる力を育むのに如何に大切に認識できた」「自分が教師になったとき、ぜひ子どもたちに体験させてあげたい」などの感想を多く頂いています。これからの時代を担うたくさんの子どもたちに繋がっ



ていくことを希っています。

◆ NPO 法人グリーンシティ福岡 志賀壮史 最近の活動報告

休校や外出自粛を受けて、オンライン配信型観察会「ZOOM de かんさつ会」を行いました。

4/23日の第1回から、おむね週に2回開催で6/27で計19回開催。

沖縄から北海道まで、毎回15～25名程度の方が参加してくださいました。

開催の様子はコチラ <http://www.greencity-f.org/article/16263271.html>

やはり、モニター越しでは五感を使った体験にはなりません、極力テーマを身近にも見られる題材にしました。

観察会が終わった後、親御さんと一緒に公園に出かけて、ソメイヨシノの蜜腺を舐めたり、ナガミヒナゲシの種を見つれたり、してくださっているようです。

オンライン観察会は、その後の体験や行動にいかにつながるのが大事なように思いました。



3) 《2020年(2020年6月～2021年5月) 活動計画》

- * 九州歴史資料館周辺での観察会 三国丘陵の自然を楽しむ会に協力。奥山ではなく、すぐ足元にある身近な自然に目を向けてもらうために、今後とも観察会を継続。
- * 環境フェスティバルふくおか2020は、コロナ感染防止のために中止
- * 福岡県営春日公園での観察会協力予定と自然あそび館の活用
- * ナイス福岡のホームページ掲示板の活用
- ※ 九州自然協議会の福岡での開催(12/5～6) 予定

『春日公園でのいろいろな観察会』は継続して実施したい。

- 毎月第1火曜日 10時から12時まで 定期的な探鳥会
- 毎月第3土曜日 10時から12時まで 定期的な自然観察会
- 毎月第4日曜日 9時から12時まで 定期的な野あそびの紹介

◇「この場所で実施したい」という候補地を挙げて、みんなで協力して実施しましょう！

その他、自然観察を楽しみたい場所があれば、提案して下さい。自由な方法で、そして、みんなで楽しみ、自然保護を考えていきたいと思えます。

毎月1回『第2金曜日の夜』は、定例会で会報発送と情報交換を！是非参加してください。

4) 2019年度会計報告、2020年度予算

会計の宮原俊彦から報告。 別紙 参照。

5) 事務局体制 について

《2020年6月27日年度役員 案》新しい会員の参加を希望

代表：田村耕作、事務局長：小野仁

事務局：藤川渡、

編集：田村耕作、山本勝、松永紀代子、

会計：宮原俊彦 監査：堀謙治、小湊正憲

自然観察会 6/27 (土) 10時から12時まで

天気曇りで、時々小雨がぱらつく程度でした。3名で開始

- ・草地でネジバナ探し。
- ・池で、飛び込みを繰り返す翡翠を観察。
- ・トウネズミモチが沢山の花をつけていた。この実が漢方薬で女貞子と言われるとの話あり。
- ・カツラ、シナサワグルミ、スズカケノキを観察。スズカケノキの樹皮に注目。
- ・マユタテアカネ、コフキトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、コシアキトンボ、ギンヤンマ、ショウジョウトンボ、ウスバキトンボ、などを観察。ヤンマの仲間を持った子供を目撃。
- ・公園内の自然風庭園の一角(2m×5m程度の広さ)で、草本(オカトラノオなど)、木本(シャリンバイなど)を観察。その種類は20種を数えた。報告田村



ネジバナ



トウネズミモチの花



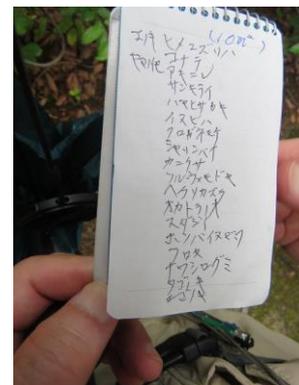
オカトラノオ



マユタテアカネ



自然風庭園の一角 約10㎡



記録の野帳 (鶴田)

2019年決算報告(2019年6月1日から2020年5月末)

(収入)

(単位:円)

項目	予算 (a)	決算 (b)	差 (b-a)	備考
繰越金	86,390	86,390	0	
会費	100,000	106,000	6,000	会員数 52 名(総会時 14 千円、郵便振替 92 千円)
その他	5,610	7,910	2,300	観察会参加費 7,910 円、新田さんから切手 8,400 円分の寄付
合計	192,000	200,300	8,300	(収入計－繰越金)/会員数≒2,191 円/人

(支出)

(単位:円)

項目	予算 (a)	決算 (b)	差 (a-b)	備考
総会運営	2,000	460	790	監査資料送付、コピー代等
会報発送	70,000	40,150	29,850	送料 16,102 円 印刷代 24,048 円
事務局費	70,000	70,000	0	事務局定額経費 12 ヶ月 * 5 千円 ホームページ作製管理 1 万円
予備費	58,000	0	58,000	
合計	200,000	110,610	89,390	支出計/会員数≒2,128 円/人

収入額-支出額=次年度繰越金

200,300 - 110,610 = 89,690

89,690 円は次年度繰越金

会計監査報告

会計報告をいたします。支払い伝票はよく整理され、支出項目も適正に処理されていました。金額の不備もありませんでした。謹んで報告いたします。

2020年6月27日

堀 謙治
辛島 真由美

2020年予算(2020年6月1日から2021年5月末)

(収入)

(単位:円)

項目	本年予算 (a)	昨年 (b)	差 (a-b)	備考
繰越金	89,690	86,390	3,300	
会費	100,000	100,000	0	
その他	5,310	5,610	-300	観察会収入等
合計	195,000	192,000	3,000	

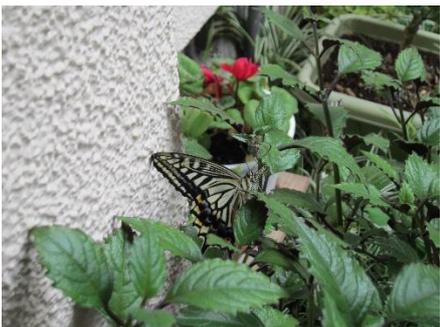
(支出)

項目	本年予算 (a)	昨年 (b)	差 (a-b)	備考
総会運営	2,000	2,000	0	
会報発送	50,000	60,000	-10,000	
事務局費	70,000	70,000	0	事務局定額経費 12 ヶ月 * 5 千円 ホームページ作製管理等
予備費	73,000	60,000	13,000	
合計	195,000	192,000	3,000	

☆しぜんごと☆ <2020. 6>

先月報告したアゲハの幼虫の続報です。姿を見失って2週間ぐらい過ぎたある朝、ふと鉢植えのモナラベンダーという花の方を見ると、なんとアゲハが羽化して翅を広げている真っ最中。あのキンカンの木からほんの1mくらい離れたところに置いてある鉢植えの中にいたのです。時折翅を広げたり閉じたりしながら、ゆっくりゆっくり翅を伸ばしていました。今か今かと思いついて見ましたが、意外に時間がかかるので、途中ちょっと部屋に戻り一休み。さすがにもう飛ぶかなと思い戻ると、ちょうど動き始めました。それまではぶら下がっていましたが、そろそろ植物の上の方に出てきて、翅を上にして、少しウオーミングアップして、ついにハラハラッと飛び立ちました。まだ少し頼りなげで、バラの枝先に止まり一休み。見つけてからここまで、ほぼ2時間。それからしばらくは、バラの枝先に居るのを何度か部屋から見ましたが、いつの間にか飛び去っていました。チョウの羽化に立ち会えるなんて、なかなか楽しいひと時でした。

ところで後日、あの小さなキンカンの葉に、アゲハが卵を産むところを目撃。「ああ・、またやってくれてる。他にミカン科の木は無いの?」と、ちょっと複雑な思いがしたのです。<さんじゃく>



◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆

会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2020年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 [01760-9-15783](tel:01760-9-15783)

定例会に参加してみませんか?

次回の定例会は、令和2年8月11日(火)午後2時より事務局で行います。令和2年8月号の原稿は、8/7(金)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

編集後記 2020年6月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作がそれぞれの自宅で作業した。

4月の行事、5月の行事と中止を継続しましたが、6月27日の自然観察会に続けて定例総会を開催することが出来ました。ゆっくりとそろりそろり自然観察会を会員の皆様と共に実施したいと思います。

これからも、感染の用心に心がけながら、少しでも今までの日常に戻りたいですね。 田字草



和白でいただいた苗が花を咲かせました。

撮影: 6/29 田村耕作